



渋谷区議会が「イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交による平和解決を求める決議」全会一致で可決

渋谷区議会は3月23日の最終本会議で、表記の決議を全会派一致で可決しました。同決議は、日本共産党区議団が、幹事長会に提案した案をもとに、議長修正提案に全会派が賛同したものです。(下記参照)

幹事長会で、私は「米国とイスラエルの先制攻撃は国連憲章・国際法違反」と正面から批判し、国際平和秩序を崩壊させかねない無法な攻撃は中止せよとの立場を明確にすべきと主張しましたが、一致に至らなかったことから、議長案への修正に応じました。

イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交による平和解決を求める決議

アメリカ合衆国とイスラエルは2月28日、イランに対する大規模な攻撃を開始した。イランでは多数の民間人が犠牲になっている。また、イランによる周辺国への攻撃も憂慮する事態である。

中東情勢の激化・長期化は、世界の平和と安定を脅かし、エネルギー供給や物価高騰などで日本国民や渋谷区民の生活にも重大な影響を及ぼすことになる。

いま求められているのは、対話と外交による平和的解決である。

よって、渋谷区議会は、米国とイスラエル及びイランに対して、直ちに軍事行動を中止し、対話と外交によって事態を解決すること、日本政府は、即時停戦と対話再開に向けた積極的な外交努力を主導することを強く求める。

以上、決議する。

党区議団の決議(案)で、一致に至らず削除した部分(赤字)

アメリカ合衆国とイスラエルは2月28日、イランに対する大規模な攻撃を開始した。これは国連憲章と国際法を乱暴に蹂躪する無法な先制攻撃である。直前まで続いていた外交協議を無視して、平和的解決の機会を閉ざしたことは重大である。イランでは少女をはじめ多数の民間人が犠牲になっている。またイランによる周辺国への攻撃も憂慮する事態である。

イラン政府による国民への弾圧は国際人権法上許されないが、軍事介入によって他国の政治体制を変更しようとするのは、各国の主権尊重と内政不干渉の原則に反し、平和の国際秩序を根底から崩壊させることになる。

第1回区議会定例会が閉会...住民の願いの請願採択に全力
届かない物価高対策、大型開発とトップダウンの予算に反対

区議会は3月23日、区長提案の議案、区民からの請願などを表決して閉会しました。
今定例会は、物価高騰で区民のくらし、中小業者の営業が深刻ななかで、困っている区民に寄り添う区政の役割を果たすこと、米国とイスラエルのイラン先制

攻撃という事態のなかで、平和を願う区民の声を発信する議会の役割を果たせることが求められました。
日本共産党区議団は、区長提案の予算に反対するとともに、議困っている区民や中小企業に届く物価高対策、福祉、くらし、教育最優先、住民が主人公の区政へ

と予算修正案と条例案を提案しました。
議案では、ササハタハツまちらばに職員を派遣する公益法人等への職員派遣条例と国保料の値上げ条例に對して本会議で反対討論を、区民の願いの込められた保育の質の向上、国保料の値上げ中止、玉川上水旧水路

緑道整備についての各請願については採択に全力をあげ、本会議で保育の請願の賛成討論をおこないました。

第1回定例会最終本会議での表決結果(抜粋)

2026/3/23

Table with columns: 議案, 可否, 会派名(人数), 共産党(3), 自民・無所属(7), シブヤを笑顔(6), 立憲・無所属(5), 公明党(5), 議会改革(3), 矢ヶ崎議員, 太田議員, 久世議員. Rows include various resolutions and proposals.